



過労死等防止対策推進シンポジウムを開催しました ～STOP！過労死～

過労死ゼロの社会実現を目指して、愛知労働局では、過労死等の防止のための活動を行う団体の皆さまの御協力を得て、県内では3回目となる「過労死等防止対策推進シンポジウム」を11月28日に開催しました。

愛知会場 過労死等防止対策 推進シンポジウム

日時 平成29年11月28日(火)
13:30～16:20 (受付13:00～)

会場 名古屋国際センター
別棟ホール
(名古屋市中村区那古野一丁目47番1号)

プログラム

- 13:30～ 【開会挨拶】 愛知労働局 労働基準部長 小城 英樹
- 13:40～ 【協力団体挨拶】
名古屋過労死を考える家族の会 代表 内野 博子 氏
- 13:45～ 【過労死等防止対策白書の説明】
厚生労働省労働基準局 総務課 過労死等防止対策企画官 佐藤 靖夫
- 14:05～ 【基調講演】「保健福祉予防学の立場から」
山崎 喜比古 氏 (日本福祉大学教授)
- 15:00～ 休憩
- 15:10～ 【過労死問題をテーマにした落語】
「エンマの願い」 桂 福車
- 15:55～ 【遺族の声】
- 16:10 【閉会挨拶】
全国過労死弁護団連絡会議幹事 岩井 羊一 氏

主催：厚生労働省
後援：愛知県、名古屋市、愛知県弁護士会
協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議

今回のシンポジウムは、企業の人事労務担当者などにもその業務の一環として参加いただきたいという思いをこめて、平日での開催でしたが、185名もの多くの方にご参加いただきました。



保健学の立場から日本福祉大学教授の山崎喜比古氏による「過労死等をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる職場と社会をめざして」というテーマでの基調講演のほか、過労死問題をテーマにした落語、御遺族からの報告などに、参加された方は熱心に耳を傾けておられました。